



毎月第3日曜は「家庭の日」

子育てにおいて家庭が果たす役割は大変重要です。そこで、家族のきずなを大切に作る日として、毎月第3日曜日を「家庭の日」と定め、併せて月別の取組みテーマを提案しています。

【月別テーマ】

- 12月「家族みんなで協力して、仕事を分担して助け合う」
1月「新しい年を迎え、一年の計画をたてる」
2月「寒さに負けない心と体をつくる」
3月「学期の節目を迎え、一年間の子どもの成長を祝う」

県民会議の取組み紹介

令和元年度山形県青少年育成県民会議総会

5月29日(水)に県庁講堂にて開催しました。議案はすべて原案通り可決され、令和元年度活動方針、事業計画を決定しました。そして、新会長に鈴木慈氏が選任されました。



令和元年度「明るいやまがた、夏の安全県民運動出発式」

7月19日(金)に山形県郷土館「文翔館」にて開催しました。「明るいやまがた、夏の安全県民運動」を広報するとともに県民総ぐるみの運動を促進するため、出発式とパレードを行いました。



モンテディオ山形ホーム戦啓発活動

10月14日(月・祝)のモンテディオ山形 VS FC 岐阜戦にて、「いじめ・非行をなくそう」やまがた県民運動の啓発ティッシュや自撮り被害防止の啓発ティッシュを配布し、来場者に運動について啓発を行い、併せて自撮り被害防止を呼びかけました。



青少年あんしんネット環境づくり連絡会議

5月29日(水)に山形県子育て推進部若者活躍・男女共同参画課が主催し、関係団体、事業者、各行政機関等と安心・安全なネット利用環境への取組みについて、協議しました。併せて、県から7月1日施行の改正青少年健全育成条例について説明がありました。



第58回山形県少年の主張大会

9月28日(土)山形ビッグウイングにて開催しました。県内4地区の代表15名の中から、「夢に向かって」と題して発表した山形県立山形聾学校中学部3年佐藤美華さんが最優秀に選ばれました。



山形県青少年育成県民会議ホームページリニューアルのお知らせ

これまでのホームページを一新し、新たにホームページを開設しました。事業の内容を分かりやすく表示し、これまでになかった相談窓口案内のページも設けました。ホームページはスマートフォンにも対応しており、青少年もアクセスしやすいようになっています。ぜひご覧ください。

URL: <http://yamagata-seishonen.jp/>

QRコードからもアクセス



山形県青少年育成県民会議入会のお願い

当会議では、次世代を担う青少年の健全な育成を図るため、「大人が変われば子どもも変わる」県民運動や「いじめ・非行をなくそう」やまがた県民運動を展開しています。活動や趣旨にご賛同、ご協力いただける新規会員の方を募集しております。機関誌をご覧くださいにいただいている皆様からも、ぜひお声がけをお願いいたします。

☆現在の会員数(1,433名) 令和元年10月末現在
会員の皆様には会報をお送りするとともに特別会員は会報及び総会資料に、賛助会員は総会資料にお名前を掲載させていただきます。

問合せ・申込み先

山形県青少年育成県民会議事務局
(県若者活躍・男女共同参画課内)
TEL: 023-630-2727
FAX: 023-632-8238



【特別会員】

- 全国農業協同組合連合会山形県本部
- 全国共済農業協同組合連合会山形県本部
- 一般社団法人山形県建設業協会
- 山形放送株式会社
- 高橋畜産食肉株式会社
- 一般社団法人山形県銀行協会
- 出羽三山神社
- 株式会社グローバルマシーン

☆会員の種類と会費

- ・特別会員(103万円)
- ・賛助会員(105千円)
- ・団体会員(101千円)
- ・個人会員(101千円)

見守る目・育む芽 41

山形県では、平成25年度から「いじめ・非行をなくそう」やまがた県民運動が展開されています。

<運動の基本方針>

- ◎学校、家庭、地域が連携し、みんなでいじめ・非行を許さない社会づくりをすすめていこう。
- ◎いじめを受けて悩んでいる子どもたちが相談しやすい環境をつくっていこう。



P1 いじめ・非行防止セミナー

P2 いじめ・非行防止セミナー
インタビュー&県民大会レポート

P3 令和元年度「いじめ・非行をなく
そう」やまがた県民運動の取組み

P4 「県民会議の取組み」

いじめ・非行防止セミナー

○少年の主張発表 山形県立山形聾学校中学部 3年 佐藤 美華 さん

「夢に向かって」

○事例発表 戸沢村青少年育成村民会議 荒川 精治 氏

「戸沢村における青少年健全育成の取組み」



長荒川精治氏による事例発表では、自炊やもらい湯などを経験し、子どもたちの社会力を育む「戸沢流通学合宿」、テレビやゲームの代わりに家族の会話や読書をする「セーブメディア啓蒙活動」などの取組みについて説明がありました。

○講演 講師 東北大学加齢医学研究所 所長 川島 隆太 氏

「子ども達の健全な脳発達をささえるために
～スマホや基本的生活習慣の影響～」

講演では、「脳を鍛える大人の計算ドリル・音読ドリル」で「脳トレ」ブームを築いた川島隆太氏を講師に迎え、「子ども達の健全な脳発達をささえるために」をテーマに講演が行われました。スマートフォンや睡眠不足が子ども達の脳にどのような影響を与えるか、緻密なデータをもとに解説。テストの成績や偏差値はもとより、将来の就職や収入、認知症の発症にも影響を及ぼすという事実には、危機感を抱かせるものがありました。読書が脳を最大限に働かせ、脳にとって有効であるというデータの報告では、読書の大切さを実感。質疑応答が飛び交い、来場者にとって大変意義深い内容となりました。





いじめ・非行防止セミナー

interview

1

山形県立山形聾学校
中学部 3年

さとう みか
佐藤 美華さん



Q どんな気持ちでこの主張に臨みましたか

A 私には聴覚に障がいがあり、今まで自分から新しいことに挑戦するのを怖がっていました。しかし、以前読んだ本で、ノーベル平和賞を受賞したマララさんの生き方に触れ、また、地域の中学校との交流学习の経験を通して、自分を少しずつ変えることができました。そこで、「昔の自分と今の自分は違う」ということを皆さんに伝えたいという気持ちで、この少年の主張大会に臨みました。

最初は、初めてのことに緊張や恥ずかしさが先に立ち、早く終わってほしいと思っていました。大会を勝ち進むにつれ、レベルが上がり諦めたいと思いました。しかし、最後はここまで来られて、途中で諦めなくて良かったという気持ちになっていました。この大会への挑戦によっても一歩前に進むことができた、私は思います。夢に向かって頑張ろうと、改めて強く感じました。

※第 58 回山形県少年の主張大会における受賞者上位3名の主張については、県内4地区の教育事務所にて、CD音源の貸出を行っております。



interview

2

戸沢村青少年育成村民会議
副会長

あらかわ せいじ
荒川 精治氏

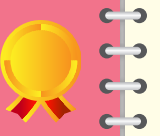


Q 活動を通して感じていることを教えてください

A 戸沢村の教育はともいくなんです。学校・保護者・地域が一体となり子ども達の健全育成に携わっています。特に、各地区で立ち上げた地域共育活動団体が、自然体験や伝統行事体験を通じ、子ども達と地域を繋いでいます。その活動を通して地域の人々が、元気をもらうことができる点も素晴らしいです。

私達、戸沢村青少年育成村民会議の仲間は、毎月 1 回役員会を開き、様々な意見を出し合いながら活動を行っていますが、村民への認知度の低さを感じます。「大変だな。」と思うところはあるありますが、一つの事業が終われば、「やって良かった。」、「みんなの笑顔が見られて良かった。」と思うことが大きいので、続けてこられたように思います。今後は、女性の仲間を増やし、次の世代に繋ぎたいと考えています。





令和元年度 山形県青少年健全育成県民大会

令和初の山形県青少年健全育成県民大会は、新庄市の新庄市民プラザにて、10月27日（日）に開催されました。オープニングアトラクションでは新庄市立萩野学園のみなさんによる「萩野鹿子踊」が披露され大会を盛り上げました。表彰式では、長年各地区で街頭指導活動や青少年の非行防止等の青少年育成活動に貢献してきた方々を表彰しました。

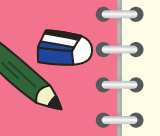
<受賞者のみなさん>		
模範活動青少年団体	山形県立荒砥高等学校吹奏楽部	今年度の“いじめ・非行をなくそう”やまがた県民運動の取組みで、「いじめ防止」の標語とポスターの優秀作品の作者を表彰いたしました。
青少年育成功労者	森谷 起士さん（中山町） 鈴木 義明さん（中山町） 斎藤 宏さん（新庄市） 渡部 和雄さん（米沢市） 金子 睦夫さん（高畠町） 佐藤 明さん（高畠町）	星野 廣志さん（川西町） 三浦 孝さん（鶴岡市） 小田 正宏さん（鶴岡市） 佐藤 浩之さん（鶴岡市） 富樫 伸さん（鶴岡市）
青少年健全育成県民運動協力団体	元気っ子クラブ（米沢市）	



山形県青少年育成県民会議会長 鈴木 慈の挨拶



受賞者のみなさん



令和元年度 “いじめ・非行をなくそう” やまがた県民運動の取組み

令和元年度 いじめ防止 優秀標語

「いじめ防止」標語を募集したところ、県内の小・中学校及び特別支援学校から計 56,487 件の応募があり、今年度は下記4作品が見事優秀賞に輝きました。作者は10月27日に新庄市民プラザで開催された青少年健全育成県民大会において表彰を受けました。

村山地区

やさしさは こころのきずの くすりばこ

西川町立西川小学校 1年 前田 結彩 さん 作

最上地区

受けとめて あなたの周りの SOS

大蔵村立大蔵小学校 5年 門脇 里奈 さん 作

置賜地区

おもいやり 心で言葉で行動で

南陽市立漆山小学校 6年 鈴木 蛭助 さん 作

庄内地区

気づいているの？ 画面の先で 傷つく心

三川町立三川中学校 3年 片山 愛彩 さん 作

令和元年度 いじめ・非行をなくそうポスター

“いじめ・非行をなくそう”やまがた県民運動の周知・啓発を図り、また「いじめ防止」優秀標語を広く県民の皆様にご覧いただくために、県内の高校生を対象にポスターのデザインを募集し、作成しました。



山形県立長井高等学校1年 遠藤 斗和子 さん 作

いじめがなくなって明るい生活がおくれる人がたくさんになるように「愛」というテーマでデザインしました。1人1人が愛をもって接していれば優しい世界になるのではないかと考えているので、それぞれの愛をたくさんの明るい色をつかったハートで表しました。

条例改正に係る街頭啓発活動

近年のインターネットの SNS 等を利用した犯罪の被害児童数の増加を受け、青少年が携帯電話端末等により有害情報を閲覧することを防止する措置を定めるとともに、青少年に対し当該青少年に係る児童ポルノ等の提供を行うよう求める行為を禁止するため、山形県青少年健全育成条例が改正されました。施行日である令和元年7月1日（月）に合わせ、山形県青少年育成県民会議及び株式会社モンテディオ山形等とともに、山形駅東西自由通路において、当該条例改正の周知とインターネットの正しい使い方等について啓発を行うため、周知啓発用のリーフレットや自撮り被害防止の啓発ティッシュを配布しました。

周知啓発用のリーフレットとポスターは、県内の小学4年生以上の児童・生徒に向け各学校に送付しました。



高校生 ICT Conference 2019 in 山形



令和元年 10 月 5 日（土）伝国の杜（米沢市丸の内）にて「高校生 ICT Conference 2019 in 山形」が開催されました。安心ネットづくり促進協議会等で構成される高校生 ICT カンファレンス実行委員会が主催し、本県での開催は、昨年に引き続き 2 回目となります。カンファレンスには、県内 7 校 17 名の生徒が参加し、「人はなぜ SNS を使うのか？～改めて考える SNS の使い方～」のテーマのもと、3 グループに分かれて、様々な意見を出し合い結論を導き、発表を行いました。

グループ単位での投票や選考・話し合いの結果、県立山形西高等学校 2 年の渡邊沙采さんが東京で開催される全国サミットに出場することが決定しました。全国サミットでまとまった意見は、内閣府や関係省庁に提言として報告します。

2 見守る目 育お芽

見守る目 育お芽 3